

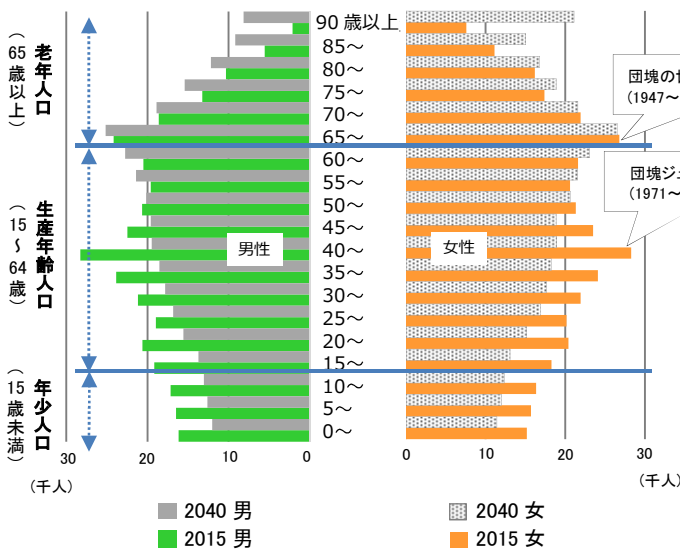
岡山市ジェンダー統計 岡山市の女性と男性2017

岡山市は2009年政令指定都市に移行し、現在は人口70万人を超える中四国地方の中核拠点都市として発展を続けています。岡山市におけるジェンダー問題への市民参加は「日本女性会議おかやま」（1997年）開催を機に進み、「岡山市男女共同参画社会推進センター」「さんかく岡山」開設（2000年）、「岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例」「さんかく条例」公布（2001年）とともに、より一層の広がりを見せています。この岡山市ジェンダー統計「岡山市の女性と男性 2017」は2015年の国勢調査結果を基に、「岡山市の女性と男性 2012」の改訂版として、市民グループが岡山市と協働して作成しました。

A 人口・世帯

A-1 2040年には老年人口が増加する一方、年少人口、生産年齢人口は減少の見込み

図1 年齢階級別人口と将来推計人口（2015、2040年）



出所 総務省統計局『平成27年国勢調査』
国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』

A-2 総人口は2040年に約65万人となり、2015年より約6.8万人減少の見込み

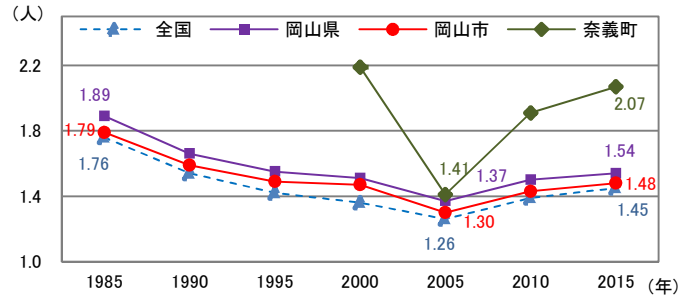
表1 年齢階級3区分人口および推計人口（2005、2015、2040年）

年	性別	15歳未満	15～64歳	65歳以上	総数 (不詳を除く)	総数	男女計
2005	女	13.6%	64.9%	21.5%	359,986	361,401	696,172
	男	15.5%	68.0%	16.4%	333,002	334,771	
2015	女	12.8%	59.8%	27.4%	368,504	373,561	719,474
	男	14.7%	63.5%	21.8%	339,027	345,913	
2040	女	10.5%	54.2%	35.3%	338,854	338,854	651,328
	男	12.0%	59.5%	28.5%	312,474	312,474	

注1 人口割合は不詳を含まない総数で推計
注2 2005年数値は2010年市区町村ごとの数値
出所 総務省統計局『平成17年国勢調査』『平成27年国勢調査』
国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』

A-3 2015年の合計特殊出生率は1.48と全国よりは高く、岡山県より低い

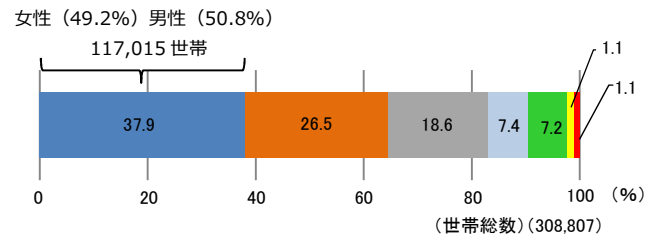
図2 合計特殊出生率の推移



出所 1985年～1995年：岡山市『保健衛生年報』
2000年～2015年：岡山県『衛生統計年報』
奈義町2000年～2015年：奈義町『合計特殊出生率と出生数の推移』

A-4 単独世帯が最も多く、全体の37.9%を占める

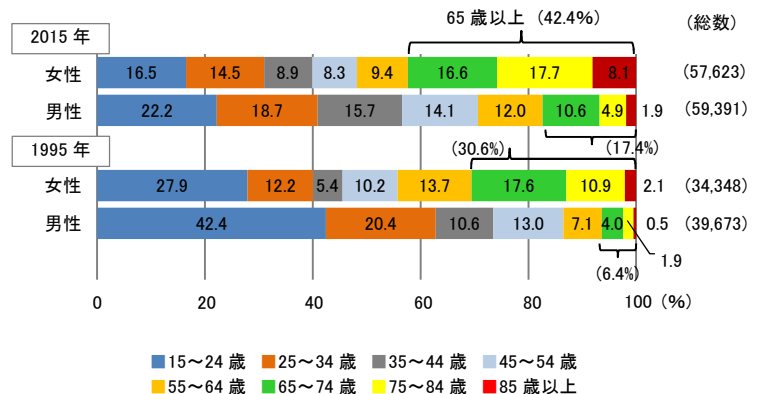
図3 家族類型別世帯数割合（2015年）



注 世帯総数には不詳を含む
出所 総務省統計局『平成27年国勢調査』

A-5 単独世帯総数が男女共に20年前より増加しており、65歳以上は男女共に10ポイント以上増加し、特に女性は4割を超えている

図4 性・年齢階級別単独世帯割合（1995、2015年）

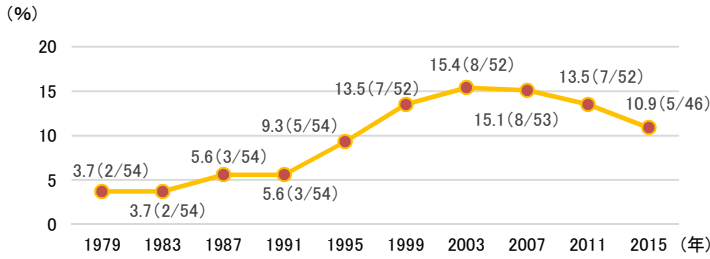


注1 総数は15歳以上人口で不詳を含む
注2 1995年は岡山市のデータに御津町、建部町、瀬戸町、灘崎町を組み入れ
出所 総務省統計局『平成7年国勢調査』『平成27年国勢調査』

B 政策・方針決定

B-1 2015年の市議会議員定数(46人)のうち、女性議員は5人と減少傾向

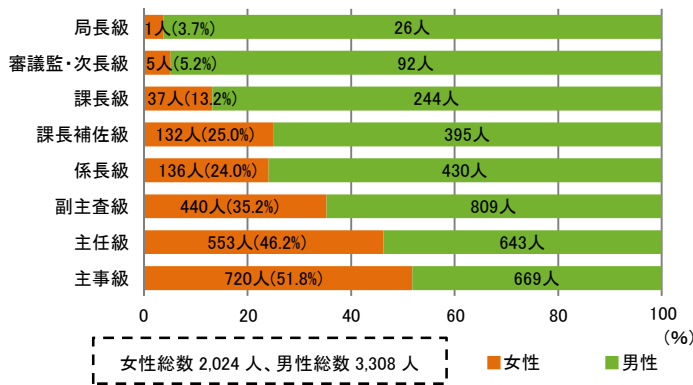
図5 市議会議員定数と女性議員数の割合



注 ()内は、女性議員数/議員定数 / 出所 岡山市議会事務局調べ

B-2 岡山市職員のうち局長級は、男性26人に対して女性は1人

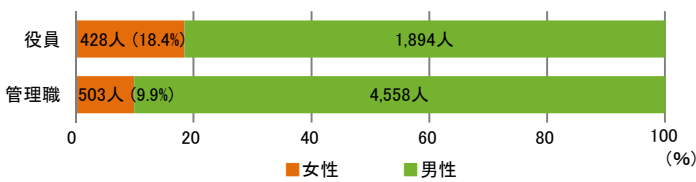
図6 岡山市職員の性別役職者数割合 (2017年)



注 数値は平成29年4月1日現在
出所 岡山市『女性の職業選択に関する情報の公表』

B-3 岡山市内民間企業556社では、管理職の男性4,558人に対して女性は503人

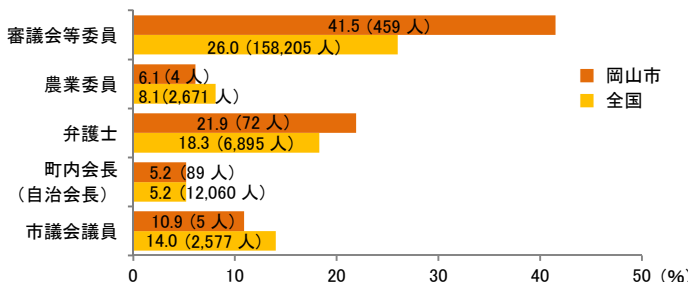
図7 民間企業の管理職・役員数の性別割合 (2014年)



注 調査対象は岡山市内の社員10人以上の企業1,265社(回収556社)、従業員総数(役員含む)51,971人
出所 岡山市女性が輝くまちづくり実行委員会『岡山市女性が輝くまちづくり調査報告書』

B-4 意思決定に関わる女性の割合は、審議会等委員が全国と比べて特に高い

図8 各種委員、弁護士、議員など要職における女性割合 (2016年)

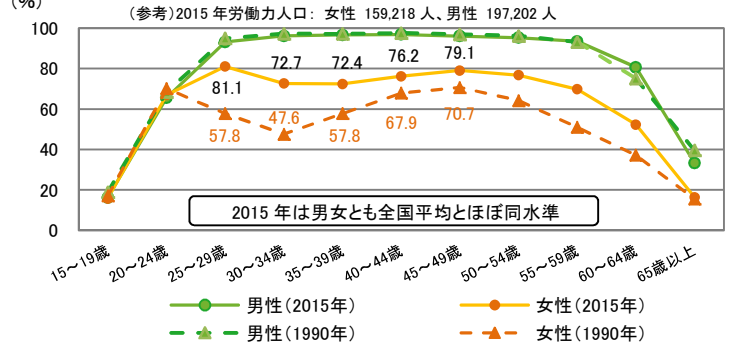


出所 内閣府『平成28年度女性の政策・方針決定参画状況調べ』、農林水産省『平成28年度農業委員への女性の参画状況』、総務省『地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調』、岡山弁護士会調べ、岡山市女性が輝くまちづくり推進課調べ、岡山市議会事務局調べ

C 女性の就業と女性をとりまく社会環境

C-1 女性の労働力率のM字型カーブの谷は浅くなってきているが、男性との差は依然開いたままである

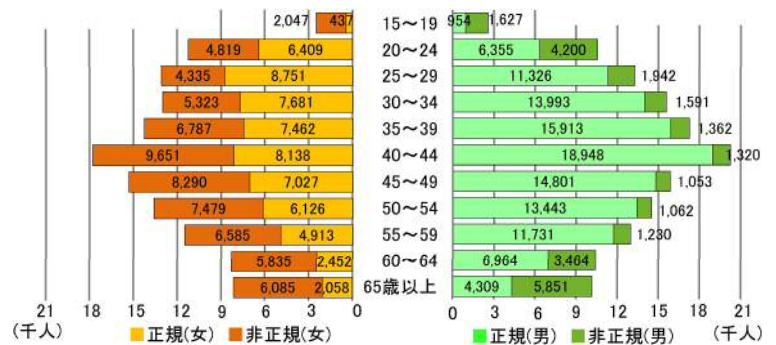
図9 性、年齢階級別労働力率 (1990、2015年)



注 1990年数値には不詳を含み、2015年数値は不詳を除く
出所 総務省統計局『平成27年国勢調査』『平成27年国勢調査』

C-2 女性の正規就業者割合は25~29歳がピークで約7割、40歳以降は5割に満たない

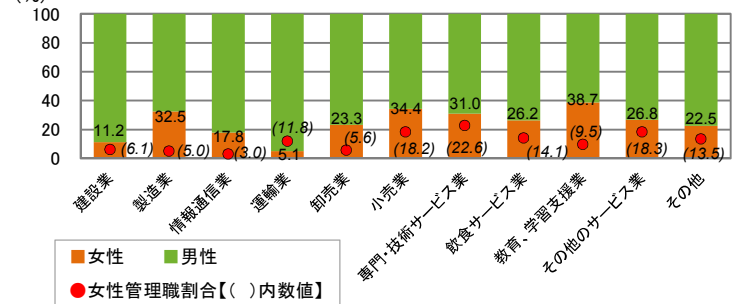
図10 性、年齢階級別の正規・非正規就業者数 (2015年)



出所 総務省統計局『平成27年国勢調査』

C-3 業種別にみても、正社員の女性割合・女性管理職割合ともに低い傾向

図11 業種別正社員の性別割合と女性管理職割合 (2014年)

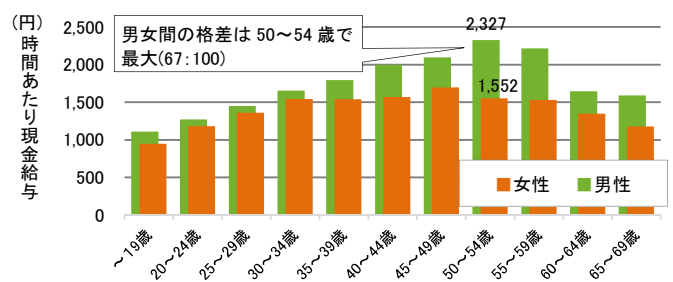


注1 調査対象は岡山市内の社員10人以上の企業1,265社(回収556社)、従業員総数(役員含む)51,971人

注2 不明、従業員総数(役員含む)が1000人未満の業種を除く、正社員には管理職を含む
出所 岡山市女性が輝くまちづくり実行委員会『岡山市女性が輝くまちづくり調査報告書』

C-4 時間あたり現金給与の男女格差は50歳代で最大となる

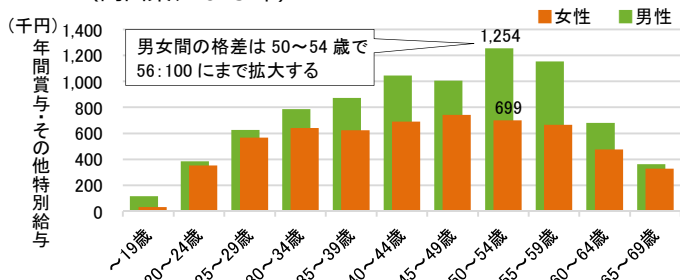
図12 年齢階級別時間あたり現金給与の男女間格差 (岡山県、2016年)



注 時間あたり現金給与額は、岡山県の10人以上の民営・公営事業所の常用労働者を対象に次の計算式で推計(時間あたり現金給与÷きまって支給する現金給与額/ (所定内実労働時間数+超過実労働時間数))
出所 厚生労働省『平成28年賃金構造基本統計調査』

C-5 年間賞与の男女格差は30歳代から50歳代にかけて拡大する

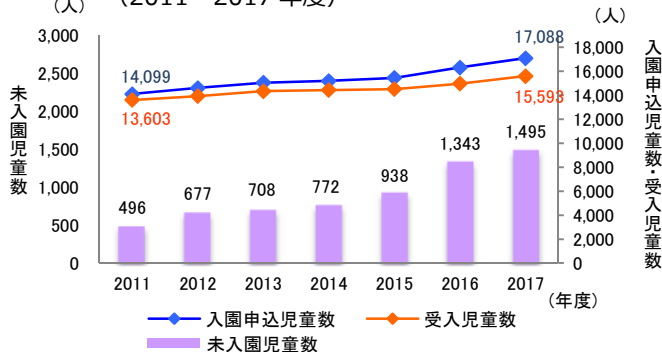
図13 年齢階級別年間賞与・その他特別給与の男女格差(岡山県、2015年)



出所 厚生労働省『平成28年賃金構造基本統計調査』

C-6 保育の受け皿を整備したが、入園申込児童数が増加したため、1,495人が未入園児童となった

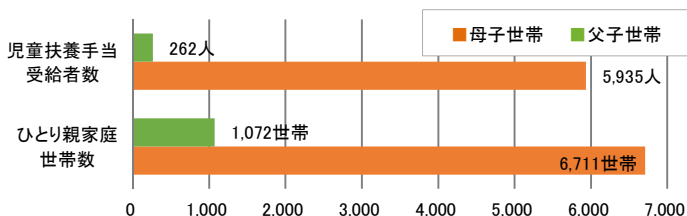
図14 認可保育所等入園申込児童数と未入園児童数の推移(2011~2017年度)



注 児童数は4月1日時点における数値
出所 岡山市就園管理課調べ

C-7 母子世帯の児童扶養手当受給者割合は、父子世帯に比べて圧倒的に高い

図15 ひとり親家庭世帯数と児童扶養手当受給者数(2015年度)

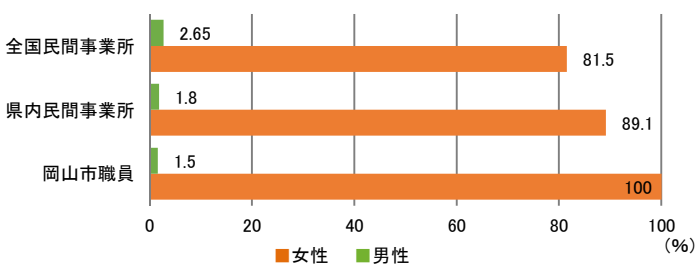


注 国勢調査において、母子(父子)世帯とは、未婚、死別又は離別の女(男)親と、その未婚の20歳未満の子どもからなる世帯(上記数値は他の世帯員がいる世帯を含む)
出所 総務省統計局『平成27年国勢調査』
児童扶養手当受給者数:岡山市こども福祉課調べ

D ワーク・ライフ・バランス

D-1 民間事業所の育児休業取得率は全国も岡山県も100%に届いていない

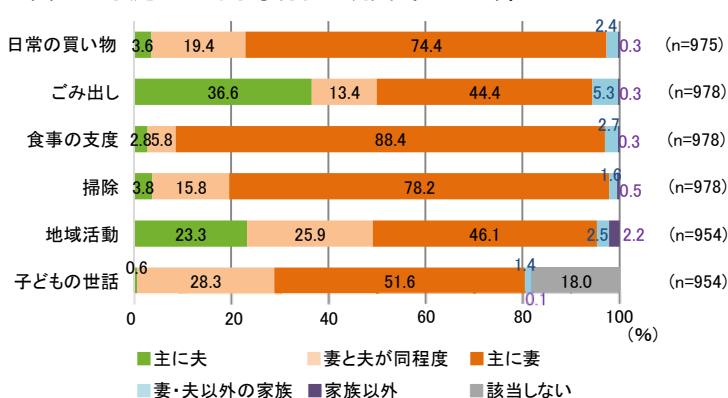
図16 育児休業取得率(民間事業所・岡山市職員、2015年)



出所 厚生労働省『平成27年度雇用均等基本調査』
岡山県『平成27年度仕事と家庭の両立支援に関する調査結果』
岡山市『女性の職業選択に資する情報の公表』

D-2 家庭生活では主に妻が家事を担っている

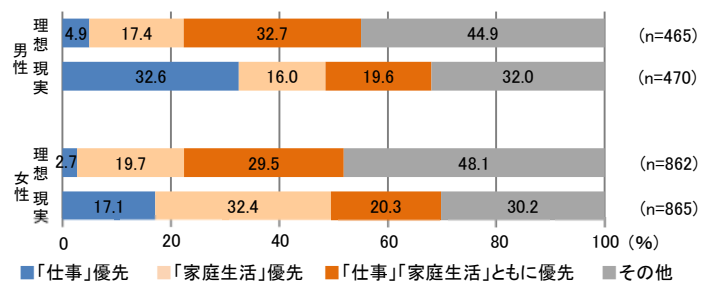
図17 家庭における家事分担の現実(2015年)



出所 岡山市『男女共同参画に関する市民意識・実態調査報告書(平成28年3月)』

D-3 理想において「仕事」優先の人は少数だが、現実では男性32.6%女性17.1%が「仕事」優先となり、理想と現実には大きな差がある

図18 ワーク・ライフ・バランスの理想と現実(2015年)

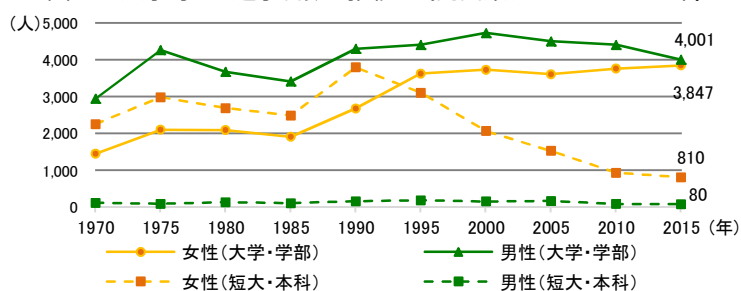


出所 岡山市『男女共同参画に関する市民意識・実態調査報告書(平成28年3月)』

E 教育

E-1 女性の大学進学者数は1995年には短期大学進学者数を超えた

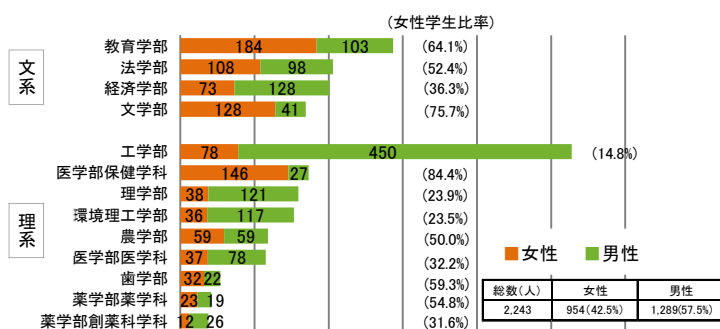
図19 大学等への進学者数の推移(岡山県、1970~2015年)



注1 大学(学部)、短期大学(本科)の数値
注2 進学者数は各年3月卒業者の5月1日現在のもの
出所 文部科学省『学校基本調査』各年版

E-2 理系の女子学生割合は文系に比べてまだ低い

図20 岡山大学の性、学部別卒業生数(2015年度)

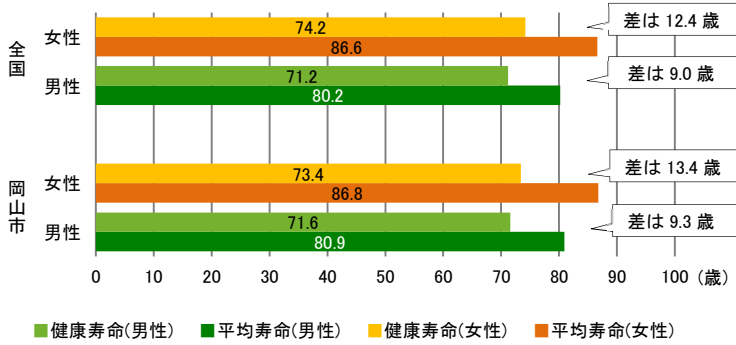


注 学部のうち夜間が主のコースとマッチングプログラムコースを除く
出所 岡山大学 HP:岡山大学データ集『平成27年度卒業・修了者の就職(進学)状況』

F 健康

F-1 岡山市の女性の健康寿命と平均寿命との差は、男性に比べて大きい

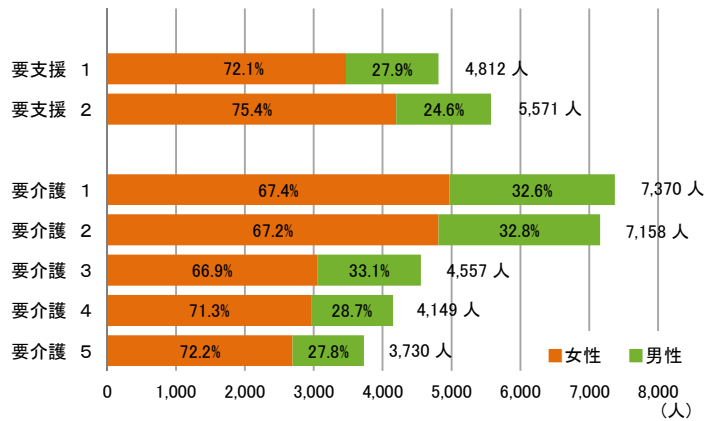
図 21 平均寿命と健康寿命 (岡山市・全国、2013 年)



出所 平均寿命:厚生労働省「市区町村別生命表(H22.25)」
健康寿命:厚生労働省研究班「健康寿命の指標化に関する研究(H25年度分担研究報告書)」及び「国民生活基礎調査(H25)」を基に岡山市で算出

F-2 要介護認定を受ける女性はすべての介護レベルで男性の2倍を超える

図 22 要介護(要支援)認定者数 (2015 年度)

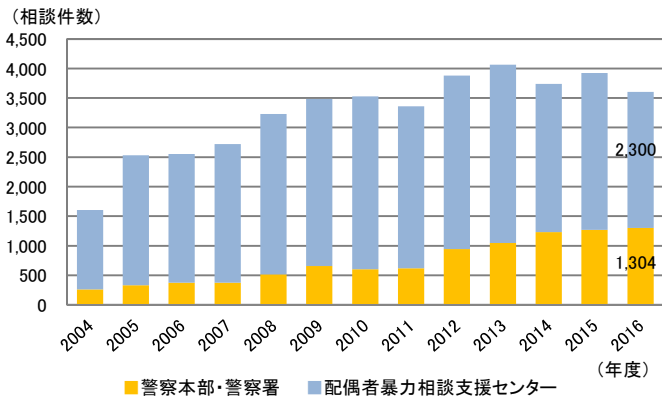


出所 厚生労働省『平成 27 年度介護保険事業状況報告』

G 子ども・女性への暴力

G-1 警察本部・警察署への相談件数が増えている

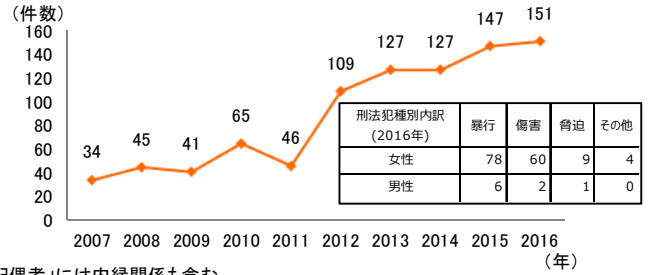
図 23 DV 相談件数 (岡山県、2004~2016 年度)



出所 岡山県『平成 29 年度版男女共同参画に関する年次報告書』

G-2 配偶者間暴力における女性の被害者件数は年々増加している

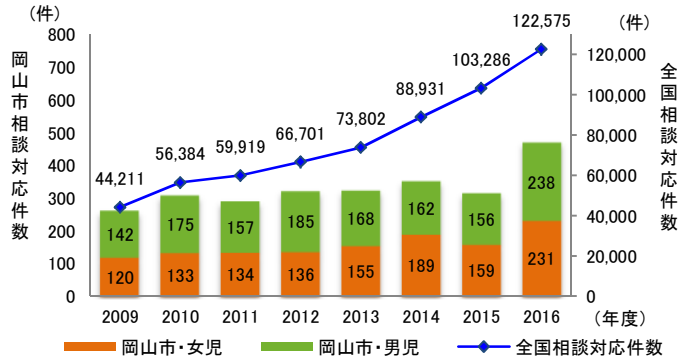
図 24 配偶者間暴力における女性の被害者件数 (岡山県、刑法犯のみ、2007~2016 年)



注 「配偶者」には内縁関係も含む
出所 岡山県警察本部刑事企画課調べ

G-3 岡山市の児童虐待相談対応件数は全国的な傾向と同様、増えている

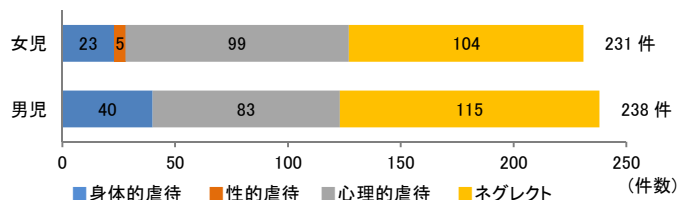
図 25 児童相談所における児童虐待相談対応件数 (岡山市・全国、2009~2016 年度)



注 全国の 2010 年度は、東日本大震災の影響により福島県を除いて集計した数値
出所 岡山市こども総合相談所調べ、厚生労働省『福祉行政報告例の概況』各年版

G-4 虐待種別のうち、ネグレクト(育児放棄)の割合が最も多い

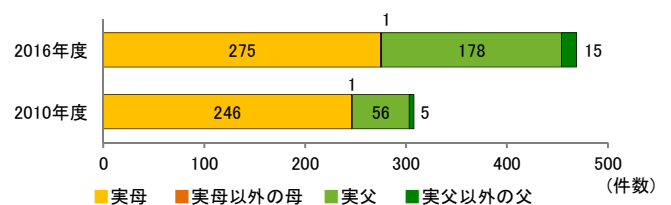
図 26 こども総合相談所性別虐待種別内訳 (2016 年度)



注 心理的虐待のうち、暴力等の目撃によるものが 122 件と多い(男女計)
出所 岡山市こども総合相談所調べ

G-5 実父による虐待が増えている

図 27 虐待相談対応の主たる虐待者別内訳 (2010、2016 年度)



出所 岡山市こども総合相談所調べ

発行 ジェンダー統計を語ろうかい・岡山市

助言 伊藤陽一(法政大学名誉教授)

小野寺剛(環太平洋大学講師)

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」



市民協働事業 2018 年 3 月